



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485



ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

# 済生会

わかやま

# NEWS

第14号

発行日: 2008. 6

## ～「基本方針」～

- 1、救急対応と急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
- 2、患者様の立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
- 3、透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし相互信頼を確保する。

## — Information —



「政治にあずかるものは人心の動揺を十分に考慮して対策を講じ、国民生活の健全な発達を遂げさせるべきであろう。また、もし国民の中に、生活に困窮して医療を求めることもできず、天寿を全うできないものがあるとすれば、それは私が最も心を痛めるところである。」これは現在の世相についてコメントしたのではなく、明治44年に明治天皇が下賜された済生勅語の大意の一部であります。当時は日露戦争が終結して7年が経過しており、国全体の発展を急ぐあまり一部国民の生活に大きな格差が生じたことに心を痛められた明治天皇は時の内閣総理大臣桂太郎を召され、「恵まれない人々のために施薬救療事業を起こすように」との済生勅語と、その基金としてお手元金150万円を下賜されました。桂総理は、この御下賜金をもって財団法人を組織し、これに全国各界の有志の寄付金を加えて運営することとし、明治44年5月30日 済生会を創立しました。これが全国に80あまりある済生会病院の始まりであり、済生会和歌山病院もその一員であります。済生会は創立の経緯に見られるように、時の内閣総理大臣が中心となり、いわば国家事業のような形でスタートしました。当時は、現在のような公の社会保障制度はなく、済生会の行う低所得者に対する無料診療は今日の生活保護の医療扶助の役割を果たすものでありました。戦後、新憲法の下で社会保障は国の責務となり、済生会の役割は変化してきました。

和歌山市の中心に位置し、和歌山城の隣にある済生会和歌山病院も医療に恵まれないすべての人々に手を差し伸べるといふ創立の精神にのっとり、地域の時代の要請に応えるべく全科をあげて業務を展開しています。平成19年度の実績は、外来延患者数77,449、入院延患者数64,227、平均在院日数16.8、手術件数1,334、胃カメラ1,683、大腸ファイバー774、腹部エコー3,759、心エコー1,538など、年々件数が増加してきています。当院は創立の精神に加えて、さらに地域の中核病院として高度先進医療の提供を行う役割も担っており、最新鋭の検査機器と有能なスタッフの両輪が高度先進医療のサービスを行っております。また当院では林靖二病院長の提案で「四つのA」を病院のモットーにしています。すなわち 1 明るい、2 挨拶があり、3 愛のある、4 アカウンタビリティ（納得説明）の四つに徹した病院であります。さらに当院の理念は「私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、働きがいと誇りを持てる病院を目指します。」であり、受診してよかったといってもらえる病院を目指してスタッフ全員が、がんばっています。

副院長 松崎 交作

日常診療において消化器病関連疾患は最も患者数が多い領域の一つであり、その中で、当科では病診連携を軸に、肝胆膵、消化管の専門的な診断・治療を行っています。特に、慢性C型肝炎に対するペグインターフェロン・リバビリン治療、早期胃がん、大腸がんに対する内視鏡的粘膜切開・剥離術（ESD）、肝腫瘍ラジオ波焼灼療法、胆道結石に対する治療、内視鏡的胃ろう造設術などに力を入れております。さらに、今後は当院の特徴として、これらをチーム医療に組み込み、クリニカルパスを利用することで、患者様に満足が行く医療を提供できるよう努力したいと思います。



2008年度診療報酬改定において、地域連携が重要視されております。和歌山市内地域で、互いに別の役割を担いながら、補完、協働、連携をして、先生方とタッグを組んで、患者様のQOLをよくする医療と一緒に提供できればと切に願っております。

## 新人看護技術研修について

## 教育I委員会：卒後1年目担当

当委員会では看護部方針に沿った経年度別の現任教育を行っている。その活動のひとつに新人看護師を対象とした3日間の新人看護技術研修がある。

その目的は

- ① 離職理由の大半を占める、臨床でのリアリティショックを最小限度にとどめる
- ② 新人看護師間の仲間意識を高める、である。

開始後3年目の今年は新人16名が参加した。その研修内容は、注射や採血などの頻度高い看護処置である。毎年好評なのは、循環器内科木村DrによるACLSの研修である。今年はアメリカのドラマ「ER」を活用した講義のほか、人形を用いてのBLS演習は受講者にとって満足度が非常に高い。さらに最終日は院長・看護部長をまじえて新人とともに昼食をとりコミュニケーションをはかっている。



研修後の感想では「実施して患者の苦痛がわかった」「いつも患者中心の看護を心がけたい」など、新人からうれしくなる声が聞けた。今後も新人が安全に、自信を持って看護できるサポートにつなげたい。

## 研 修 会

### 第31回 和歌山東臨床研究会

● 日 時 2008年7月5日(土) 15:00～17:00

● 場 所 ダイワロイネットホテル和歌山

座 長 済生会和歌山病院 副院長 松崎 交作

#### 特別講演

『東南海地震発生時・和歌山では』  
和歌山県立医科大学附属病院  
救急集中治療部 助教授 岩崎 安博先生

#### 一般演題

『治療抵抗性冠攣縮性狭心症の一例』  
済生会和歌山病院 循環器内科部長 大鹿 裕之  
『乳癌に対する乳腺切除一期的再建術』  
済生会和歌山病院 外科部長 重里 政信

## 済生会和歌山病院糖尿病センター開設のご挨拶

糖尿病代謝内科部長 江川 公浩

当院では平成17年1月より糖尿病代謝内科を新設し、地域における糖尿病治療を担うべく糖尿病専門医が中心となり現在3名の医師で治療しています。さらに糖尿病療養指導を医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士が一体となった糖尿病ケアチーム（DCT）を創設することでチーム医療として実践しています。DCTは糖尿病調理教室、ウォークラリー、患者座談会（夕べのつどい）や糖尿病教室（原則第3水曜日14:00～）などを主催して活動しています。



さらに、糖尿病地域連携クリニカルパスの導入を視野に入れながら病病・病診連携をより円滑に進め、また地域における糖尿病診療のレベルアップを目指していく上での糖尿病診療の地域拠点となるべく、「済生会和歌山病院糖尿病センター」を平成20年4月1日に開設いたしました。従来の糖尿病外来、紹介栄養指導、コメディカル向け糖尿病療養指導研修コース、十二番丁病診連携糖尿病勉強会は糖尿病センターに集約して継続するとともに、新たにフットケア外来、病診連携外来なども企画しつつあり、また糖尿病センター登録医制度を創設し患者情報の共有化を目指しております。ご意見ご要望がございましたら地域医療連携室にいただければ幸いです。今後ともに糖尿病センターの活動にご参加・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

### 【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成19年12月…146件    20年1月…164件    2月…166件    3月…235件  
のご利用頂きありがとうございました。

## 瀧本クリニック 瀧本 幹之 先生

昭和48年の春、和歌山医大から初めて済生会病院に外科医員を派遣することになり私が初代の外科医長として赴任致しました。内科には井関現名誉院長以下3名の医員がいましたが外科は手薄で元静岡市民病院院長の大岡先生が院長兼務でお勤めになっていました。古い木造の病院で設備も充分でなく、初めての胃ガンの手術の際の大騒動を懐かしく思い出します。夏には夕方になると隣の酒屋さんが開いたビアガーデンに大岡先生がよく招いて下さいましたのもうれしい思い出です。一方では新しい試みに取り組み、心停止した高校生を泉南から救急車で運び人工心肺の補助循環で助けようと頑張ったりもしました。私は一年後、太田先生に引き継いでドイツに留学し昭和63年に開業するまで大学病院にいましたので少しご無沙汰になっていましたが、現在の広瀬通丁に開業してからは地域の中心病院としていろいろお世話になっております。最近までは時々手術もさせて頂きました。



現在の地に移転されてからは設備も整い、スタッフも充実して本当に頼りになる病院になり喜んでいきます。院長の林先生は大学山岳部の先輩ですし、外科の重里先生は昔から一緒に手術をした仲間で気心も知れており、難しい症例や訳ありの症例を御願いできる私にとって有り難い病院となっています。開業医にはなくてはならない地域連携の中心病院としてますます発展して頂きますよう祈っております。

# 濟生会和歌山病院外来診療予定表

(平成20年7月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金
内科・糖尿病代謝内科 ・ 消化器科	2 診	山原 邦浩	—	山原 邦浩	井関 良夫	川口 雅功
	3 診	文野 真樹	—	川口 雅功	梅田 恭史	文野 真樹
	4 診	梅田 恭史	江川 公浩	荒古 道子	江川 公浩	荒古 道子
循環器科	5 診	木村 桂三	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	木村 桂三	大鹿 裕之
放射線科		—	—	野村 尚三	—	—
脳神経外科	7 診	仲 寛	中川 真里	乾 芳郎	仲 寛	林 靖二
	8 診	乾 芳郎	—	—	林 靖二	—
外科・心臓血管外科	8 診	—	高垣 有作	—	—	岩橋 正尋
	9 診	重里 政信	太田めぐみ	重里 政信	太田めぐみ	中村 恭子
	10 診	岩橋 正尋	—	—	—	
整形外科	13 診	延與 良夫	船岡 信彦	新患診	松崎 交作	船岡 信彦
	14 診	北野 岳史	納田 和博		納田 和博	延與 良夫
リハビリテーション科	6 階	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
耳鼻咽喉科	15 診	医大応援医師	—	医大応援医師	—	—
腎セクター	2 階	—	—	—	岡本 昌典	—
眼科	2 階	大川記羊美	大川記羊美	—	大川記羊美	宮崎 賢一
皮膚科	2 階	上中智香子	—	—	山本 有紀	—
泌尿器科	2 階	—	—	佐々木有見子	—	新谷 寧世

※内科 井関 (一般) 川口 (肝/消化器)  
江川 (糖尿病・代謝) 文野 (肝/消化器)  
荒古 (糖尿病・代謝) 山原 (肝/消化器)  
梅田 (糖尿病・代謝)

【受付時間】 午前 (全科) 8時45分～11時00分  
(但し、予約患者さまは除く)

\*土曜日は休診ですのでご注意ください。

## 肝臓病教室

場 所 : 濟生会和歌山病院 7階 多目的ホール  
時 間 : 午後2時～  
参 加 費 : 無料

## 糖尿病教室

日 程 : 毎月の第3水曜日  
場 所 : 濟生会和歌山病院 7階 多目的ホール  
時 間 : 午後2時～午後3時30分 (要予約)

## 診療案内

診 察 日 : 月～土曜日  
受 付 時 間 : 午前8時45分～午前11時 (但し、予約患者様はこの限りにあらず)  
休 診 日 : 日・祝祭日 (年末年始)  
面 会 時 間 : 月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187